

ベビコンのために開発された

日立ベビコン専用オイル

ベビコン専用に添加物配合
& デザインリニューアル



1L缶
注文コード No.742433



4L缶
注文コード No.742477



20Lプラペール
注文コードNo.742500

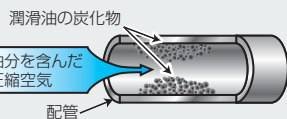
日立ベビコン専用オイルの特長

【市販のコンプレッサー用オイルと比較して、以下の点で優れています。】

- ベースオイル&特殊酸化防止剤配合で炭化物の生成量が少ない
- 特殊極圧添加剤配合で摩耗、傷の発生量が少ない

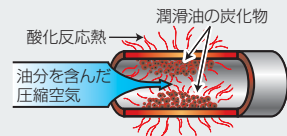
炭化物堆積のメカニズム

空気圧縮機に使用する潤滑油は、圧縮機本体のクランク室内部で噴霧化し、シリンダ、シリンダヘッド内の高温、高圧にさらされます。これによりオイルの酸化、劣化が起こり、炭化物(カーボン)となります。その炭化物は空気弁周り、配管内部に堆積します。

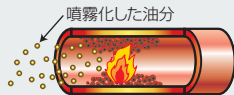


炭化物が堆積すると...

堆積したカーボンに圧縮空気中の油分が浸み込み、化学反応を起こします。その反応熱がカーボン内に蓄積されていきます。



これが悪化すると圧縮空気内の噴霧化した油分が蓄積された熱で、**発火**を起こすこともあります。



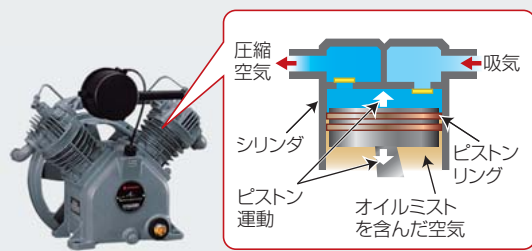
最悪の場合は**爆発**を起こすこともあります。



(社)日本産業機械工業会 汎用圧縮機委員会発行資料をもとに作成

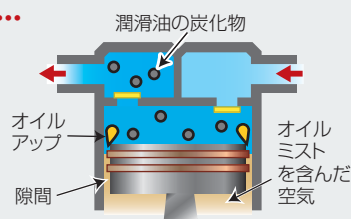
シリンダ、ピストン周りの 摩耗、傷発生の影響

シリンダ内部とピストンリングの接触面により気密性を保っていますが、摺動面は絶えず摩耗し、傷が付しやすい状況となっています。



摩耗、傷が発生すると...

シリンダ内面、ピストンリングの摺動面に摩耗が発生、もしくは傷が付くとオイルアップが増加し、炭化物生成増加の原因となります。



日立ベビコン専用オイルは

ベースオイルの性能と特殊酸化防止剤配合で炭化物の発生が少なく、炭化物が生成した場合も、ナフテン系基油、特殊添加剤(分散剤)により炭化物のはく離性に優れ、配管などへの堆積を低減します。

日立ベビコン専用オイルは

特殊極圧添加剤配合で摩耗、傷の発生を抑え、オイルアップを低減します。
極圧添加剤は、金属の二面の間の摩擦、摩耗の減少や、焼付の防止のために潤滑油に加えられる添加剤です。

日立ベビコン専用オイルと市販オイルの比較

| 試験項目 試験対象 | 薄膜残渣試験(当社調査) ガラス容器にオイルを入れ、250℃で20時間加熱後の残渣(炭化物)を測定したものです。 | | | 空気弁の炭化物比較(当社調査) | | 摩耗試験(当社調査) 4球式摩耗試験(JPIに準拠) 回転数 1200min ⁻¹ 、荷重 392N 温度 RT~なりゆき(60℃くらい) 試験時間 30min | | 総合評価 |
|--------------|---|--------|----|------------------|---------|---|---|------|
| | 残渣率(wt%) | 薄膜残渣画像 | 評価 | 評価 | 摩耗量(μm) | 評価 | | |
| ベビコン専用オイル | 5.3 | | ○ | 運転時間:3,000時間 | ○ | 0.60 | ○ | ○ |
| 市販オイル A | 11 | | × | 運転時間:504時間 | × | 0.65 | ○ | × |
| 市販オイル B | 9.7 | | × | — | — | 0.97 | × | × |

日立ベビコン専用オイルは市販オイルに比べ、炭化物生成量が少なく、また摩耗量も少なく、傷が発生しにくいオイルです。

ベビコンを良い状態でご使用いただくために定期的なメンテナンスが大変重要です。

市販のオイルに比べ、炭化物生成量が少ないベビコン専用オイルでも徐々に炭化物は生成されていきます。運転時間3,000時間毎には空気弁、配管、逆止弁周りの点検、清掃、炭化物除去を行ってください。



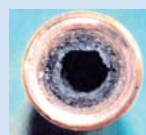
吐出し配管内側に堆積した炭化物の一例です。



逆止弁の炭化物清掃、除去を行わず炭化物が堆積した例です。

参考 炭化物が堆積すると…

炭化物の堆積により蓄熱発火し、吐出し配管が破裂した例です。(この例ではベビコン専用オイルを使用していませんでした。)



圧縮機の吐出し配管内側に堆積した炭化物



圧縮機の吐出し配管の破裂

⚠ 給油式ベビコンには、かならずベビコン専用オイルをご使用ください。

他の市販オイルを使用して発生した破損、故障などは保証対象外となります。

⚠ 安全に関するご注意

●ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。

環境・省エネに貢献する
株式会社 日立産機システム

お問い合わせ営業窓口

信用と行き届いたサービスの当社へ

本社・営業統括本部 〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町3番地(AKSビル) (03) 4345-6041 (ダイヤル)

北海道支社 (011) 611-1224 (ダイヤル) 西東京支店 (042) 660-1078 (代表) 中国支社 (082) 282-8112 (代表)
 東北支社 (022) 364-2710 (代表) 茨城支店 (029) 273-7424 (代表) 山口支店 (0835) 23-7705 (代表)
 福島支店 (024) 961-0500 (代表) 北陸支店 (076) 420-5711 (代表) 四国支社 (087) 882-1192 (ダイヤル)
 関東支社 (03) 4345-6056 (ダイヤル) 中部支社 (052) 884-5822 (ダイヤル) 九州支社 (092) 651-0141 (ダイヤル)
 新潟支店 (025) 274-6914 (代表) 静岡支店 (0545) 55-3260 (代表) 国際営業部 (03) 4345-6063 (ダイヤル)
 横浜支店 (045) 540-2731 (代表) 関西支社 (06) 4868-1226 (ダイヤル)
 甲信支店 (0266) 56-6222 (代表) 京滋支店 (075) 661-1081 (代表)

<http://www.hitachi-ies.co.jp>

●このカタログに掲載した内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

SB-516 2010.12

Printed in Japan(H)